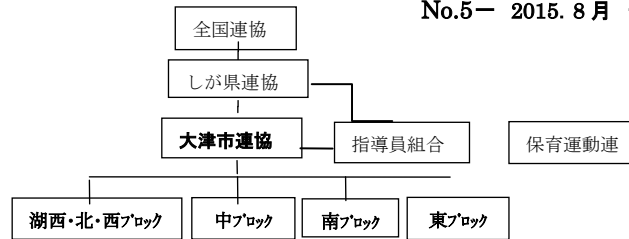


南連協だより

スローガン : 子どもたちに豊かな放課後を!

otsu_gakudo@yahoo.co.jp

http://gakudo-shiga-otsu.jimdo.com/



第32回 滋賀県学童保育研究集会を開催 ☺

去る7月12日(日曜日)、湖南市甲西文化会館にて第32回滋賀県学童保育研究集会が開催されました。お集まり戴いた皆さん、暑い中、ありがとうございました。たくさんの方にご来場戴き、盛会でした。

今年は、滋賀県子ども青少年局長様、湖南市長谷畑英吾様に御出席賜り、ご挨拶を頂戴しました。

また、京都橋大学より、芦名猛夫先生にお越し戴き、ご講演戴きました。

☆ 京都橋大学・芦名猛夫先生の講演 ☆

「子どもとともに今たいせつにしたいこと ～ 先輩からひとこと、ふたこと」と題して講演を戴きました。

かつての日本の子育てには暴力性はなかったこと、軍国主義の拡大とともに、教育場面にも暴力的な関わりが導入されたこと、いじめ問題の歴史と現状など、さまざまなことを、ご自身の子育て経験も交えつつ時に笑いもでる、豊かなお話を頂戴しました。

なかでも「一つ一つの要求が集まって運動となり、その運動が世間に認知されて世論の支持を受け、ようやく権利として獲得される」とのお話もあり、学童保育の現状と今後の改善についても同様だと、思いました。



☆ 大津市連協より、実行委員長挨拶 ☆

実行委員長を、大津市連協・長等児童クラブの大橋が担当させて戴き、開会のご挨拶をさせて戴きました。その概略を、以下に掲載させて戴きます。

娘は一歳半以来都合二カ所の保育園でお世話になりました。当初、保育園に預けることへの不安や、親としての様々な気持ちもありましたが、先生方との関係の中で楽しく通うことができ、また、二回にわたって保護者会長を務める中で、先生方のノウハウの蓄積やそれを支える制度についてそして、その一端ながら、学ばせていただきました。

昨年以來娘が児童クラブでお世話になり、指導員の皆様のお仕事の大切さと、大変さを知りました。また、これまで学童保育がどのように発展してきたか、そして、父母が父母でもありつつも、一人一人社会で役割を持ち一個の人間として活躍する場面が増えるとともに、法整備の進展がようやくはされつつも、未だ社会的な制度として問題を抱えていることを知る機会を得ました。娘の通う大津市の学童保育も、この夏休みは、暫定的な状況の下で、今も指導員を募集しつつ、何とか乗り切っていくというような状況です。

学童保育の現状を変えて行くためには、子育てを担う保護者、現場を背負う指導者、といった子どもたちの生活の現場を見る一人一人が全体像を知り、学び、声を上げて行くことが必要となるように思います。研究集会がその一つのきっかけとなり、学童保育について更に学びを深める場となることを願います。

児童クラブ課との懇談会、および、要望書回答

8/28(金)市役所 19時～新館7階 大会議室

18時30分 ロビーに集合して打ち合わせ ☺

去る8月5日、児童クラブ課へ要望書を提出しました。来る8月28日(金)19時、児童クラブ課への要望書に対する回答を受ける懇談会を開催いたします。

大津市児童クラブ課は、大津市連協と協力して子どもたちのために一緒に問題を解決していくことができると考え、毎年、市役所の場を借りての懇談の機会を作っています。

毎回、会長および市連協役員が参加して、要望書の回答を直接確認し意見交換できる機会です。18時30分にロビーで待ち合わせて打ち合わせをいたしますので、できるだけご参加ください。

7/11 瀬田地区 児童クラブ見学報告

今年度本部役員が時間を作って施設見学に参加くださった感想の一部をご報告いたします。仕事帰りに駆けつけてくださった方もおられ、お忙しいところありがとうございました。

今回初めて他の児童クラブを4施設も訪問させていただき、感じる事が沢山ありました。どこの施設も一長一短ありましたが、施設面も人材面もあるもので工夫を凝らし、子供達の安全を第一に先生方は一生懸命保育されていることがひしひしと伝わってきました。そんなにも頑張っている先生方は孤軍奮闘という印象で、(中には自分達だけでは、もうどうしようもない所まで追い込まれている施設もありました)。行政や地域、しいては保護者との間にも温度差があるのではないかと感じます。先生方に任せっぱなしにしないように、保護者会として何ができるのか早急に考えなくてはならないと思いました。

こういう機会がないと他の児童クラブを見ることのできないので参加してよかったと思います。特に過密化の激しい瀬田地区の現状にはおどろかされました。指導員先生方の努力のたまものではなしでしょうか？過密化も大きな課題ですが、やはり指導員の待遇の改善が一番ではないかなあと思いました。夏休みに関してはたいの学校が別場所を借りての保育をするようですが、保育場所が理科室 ということもあり。。。ビックリです。保護者と指導員が密になって、市の児童クラブ課、教育委員会に働きかけることがなにより大切なのだなあ。。。と思いました。市連協担当になってまだまだわからないことだらけですが、少しでも勉強できたような気がします。ありがとうございました。

瀬田地区のクラブ訪問から早3週間。既に夏休みに入って10日余り、瀬田児童クラブの皆さんがどのように過ごしているか、気になります。夏季のみの子供を含めて約200名の子供たちが毎日問題なく過ごしているとよいのですが…1年生約70名が、クラブでは収容しきれないため、地元の会館を借りて過ごしているとの事。クラブからは少し離れているため、クラブに来てから団車で徒歩で移動しているそうです。国道1号線を渡らなければなりませんし、毎日の事ですので危険も伴い、大変だと思います。学校が改修工事中で借りられなかったり、事情はいろいろあるにせよ、目の前にある幼稚園を借りられなかったのか、非常に疑問に思います。児童クラブ、小学校、幼稚園。管轄が違うからダメだ、などと言ってる場合でしょうか？大津市には、もっと柔軟な対応を望みます。

我が子が通う瀬田北を始め、瀬田東、瀬田南とも大規模クラブで、今夏初めて、夏季のみの子供たちのために学校の教室を借りて過ごしています。場所の確保がクラブのすぐそばでできた事は、ありがたく、学校には本当に感謝しています。ただ、理科室を借してくれたところが2つあり、各々問題点もあろうかと思えます。来年度に向けて、更に子供たちが快適に過ごせるよう、申入れなどしていきたいと思えます。

「日本の学童ほいく」編集委員 大津から募集！

日本唯一の学童保育の月刊誌「日本の学童ほいく」の滋賀県の編集委員に、今年は保護者へ依頼があり、滋賀県連協から大津の保護者はいかがですか？と連絡ありました。保護者で行ってきた大津市連協の活動が認められたようで、大変光栄なことです。立候補、他薦とも8/28までにご連絡ください。

詳細な案内文書をお渡ししますので、興味を持ってくださった方は、ぜひご連絡ください。

- ・任期 : 1年間(2015年11月総会～2016年9月)
- ・編集会議 : 一泊二日(2015/11/14,15、2016/2/13,14、2016/5/21,22)
- ・次年度特集企画会議 : 1日のみ(7月上旬の日曜)
- ・宿泊費交通費は全国連から出ます
- ・役割 : 年3回の編集会議に参加し、次年度特集内容を具体化する(原稿執筆)

市議会議員の児童クラブ見学

指導員の先生方は、毎日、子ども達が楽しく安心して過ごせるように、色んな工夫や配慮をしながら保育をしてくださっています。でも、その施設環境は大変過密な状態で、1日過ごすには大変厳しい状態です。また、指導員の先生方は生活できるだけの給与でない状態で、専門性の高い指導員という仕事に従事しておられます。児童クラブの運営が大きく改善するためにも、大津市市議会議員に児童クラブの現状を知っていただくことが必要です。夏休みギリギリに何とか準備が間に合いました。可愛い子供たちの生活の様子を、児童クラブ課懇談会と同じ日に、過密の進んだ施設を見学いただく予定です。

1つ1つの活動の準備や運営は大変ですが、子ども達のよい環境作りになるよう、今年の役員の皆様には、大変ご協力いただいています。ありがとうございます。

編集後記

7/21には学童保育研究集会在開催されます。私も実行委員長として参加し、僭越ながらご挨拶をさせて頂きました。実行委員長と申しましても、県連協、市連協の皆様のご尽力で運営される企画のごく一端を担わせて戴いたに過ぎません子育てに奮闘する一人の保護者に過ぎません。しかし、多くの皆さんの努力で学童保育がスタートしてきたこと、そして、いまま制度としては未だ整備途上の学童保育が、安心して預けることのできる、子育てをする全ての家庭の支えになる社会基盤となってゆくために、今も多くの方々が尽力してくださっている、そんな動きを垣間見ることができました。ありがとうございました。

暑い日々が続きます。皆さんも、体調に気をつけて、この夏を、そして、今しかない子育ての日々を乗り切って参りましょう！